

聴くことは、努力しなければ出来ない！」

聞くふりをしている？

先日、経営研究会にてコーチングの研修があり参加しました。
半分は付き合いで、参加しましたが、大変ショックを受けました。
何故か？

・・・知っているのに、出来ていない自分がいたんです。

約4年前にCTI（コーチングの専門研修機関）の研修をプロコースまで、トータル12日間位受講して自分では知識でも技術でもほぼ出来ているつもりでいました。

確かに、その当時は自分でも一生懸命に「聞くから聴く」になるように、努力しておりました。

そしてそれなりの効果もあり、満足していたんですが、・・・・・・・・

本当に一生懸命に「聴く」と大変なんです。

相手の立場になり、感性をすどくし、全神経を集中して聴いていると疲れるんです。

1時間もコーチングすると精神的に「クタクタ」になるんですね。

その当時は、努力もしていたし、
一生懸命に相手の立場に立ち、考えていたんです。

ところが、
いつの間にか、
「聴いてない」んですね。
「聴く」ふりをしているだけ、
そして自分の言いたいことを「考えている」
自分勝手な自分がいる。

いくら良いことを「知識」として得ても、
実践に活用できる「智恵」に変えなければ、全く意味もない。
それどころか、かえって知識を知らないほうがいいんだな。
「知識」として知れば、いつのまにか、「傲慢」になる。いやらしくなる。
そして、
いつも努力するという「謙虚な素直さ」が必要なんだな。
知識を得る「勉強」よりも、自分自身を見つめる「学び」が一番重要と感じました。
・・・気づかせていただいたことに感謝なんだな！
「考え方」を変えなければ、「行動」は変わらない！
だから「習慣」になるまで「継続」し続けることが重要なんですね。